

メンテナンス

フードプリンタ SK-100/SK-100h

フードプリンタを長くお使いいただくために、定期的なメンテナンスのお願いです。
トラブル防ぐ為や、修理費用（7万～9万円）をかけずに長くご利用いただけます。

準備するもの

メンテナンスキット（販売中）



パストリーゼ
（市販品）



キムワイプ



メンテナンス作業前の注意

精密機器のため、清掃や交換作業は以下の注意点を守って行ってください。

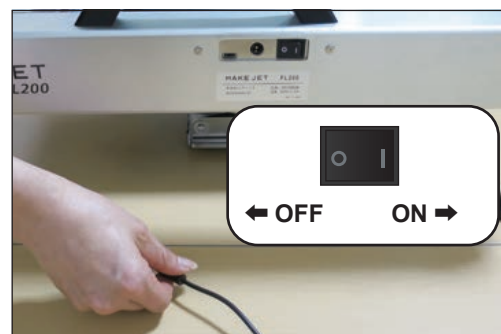
・本体からインクカートリッジの取り外し

プリンタ本体の電源を ON にし、アプリ側から「インクカートリッジ」を交換位置に自動で移動させてから、カートリッジを取り出します。



・電源オフとコードの取り外し

清掃前にプリンタ本体の電源を OFF にして、AC アダプタと電源コードを本体から外してください。



・使用する道具（メンテナンスキット）

クリーニング棒、ウエス、キムワイプ以外は使用しないでください。毛羽ゴミの出る物を使うとプリンターが故障します。
ウエスは掃除しやすい好みの大きさにカットして下さい。

・手袋の着用

メンテナンス作業や清掃をするときは、ゴム手袋を着用してください。



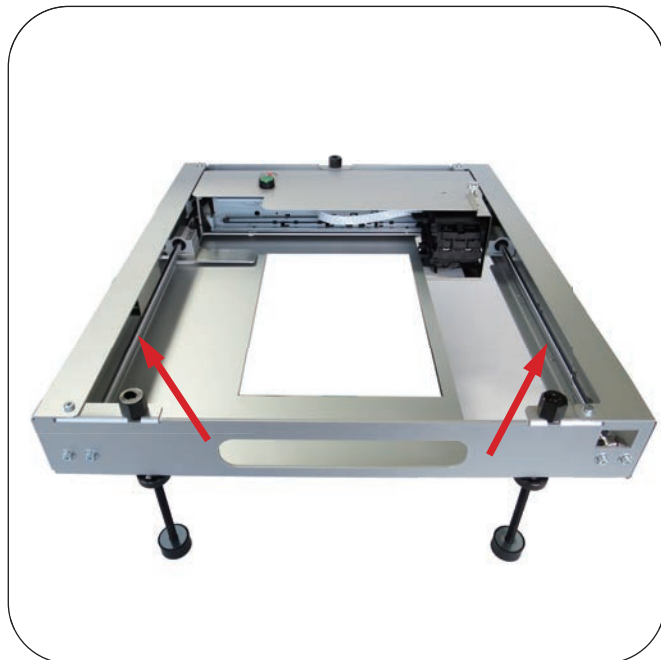
・対象外部品は触れない

清掃対象箇所以外の部品やベルト類、基盤には素手で絶対に触らないでください。故障の原因になります。

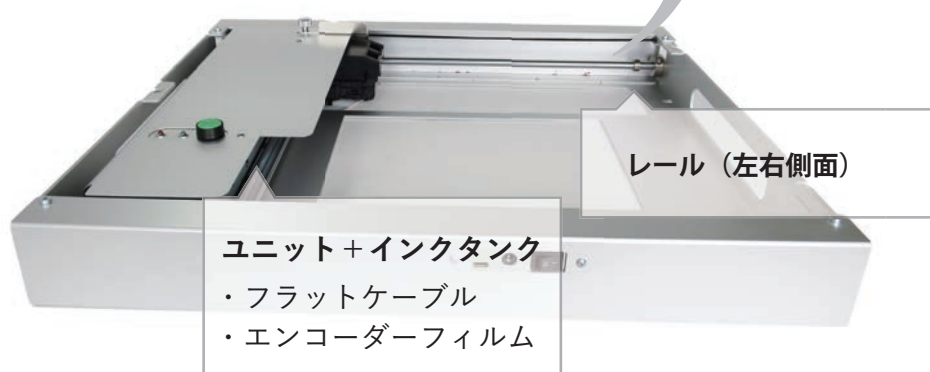
定期メンテナンスの種類と実施時期

清掃を行わずに使用し続けると、インクミストによる汚れや、スピットキャップのインク溜まりがエラーの原因になります。

清掃箇所



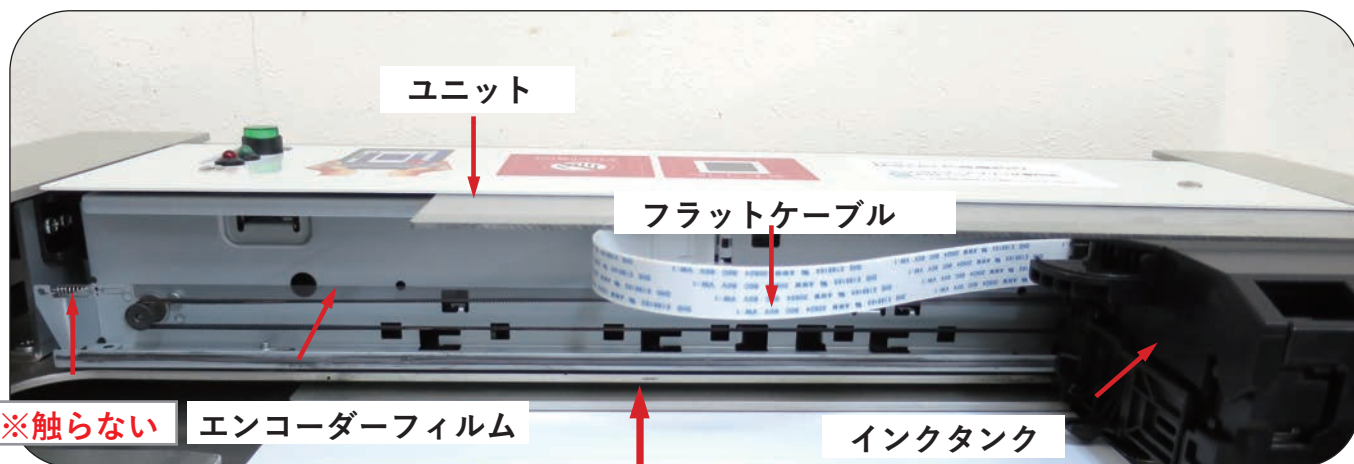
レール（左右側面）



レール（左右側面）

ユニット+インクタンク

- ・フラットケーブル
- ・エンコーダーフィルム



ユニット

フラットケーブル

バネ※触らない

エンコーダーフィルム

インクタンク

グリースが塗っているので汚れではありません。※触らない

清掃時期 / 清掃箇所

毎日の作業開始時 / 終了後：日々の清掃内容

1ヶ月に1回以上：エンコーダーフィルムの清掃、フラットケーブルの清掃、レールの清掃、お菓子の破片、砂糖のこびりつきを除去

日々の清掃（①→②）

きれいな状態で印刷が行えるように、日々の作業開始前に①と作業後に②の清掃を行ってください。

①印刷前作業

手順

カートリッジのインク吐出の確認→普通紙にヘッドクリーニングの印刷結果を確認

STEP 01 インクカートリッジの移動

プリンタ本体の電源を ON にし、アプリ側から「インクカートリッジ」を交換位置に自動で移動させます。



デコラク

STEP 02 インクカートリッジの確認

カートリッジを取り出し、カートリッジ吐出口にキムワイプを当て、シアン、マゼンタ、イエローが出ているか確認します。ブラックのインクカートリッジの場合は黒が出ているか確認します。インクが出ていない場合は、吐出口を少し強めに押さえながらスライドさせてください。

※吐出口にインクの固まりがある場合は、パストリーゼを含ませたキムワイプで取り除いてください。

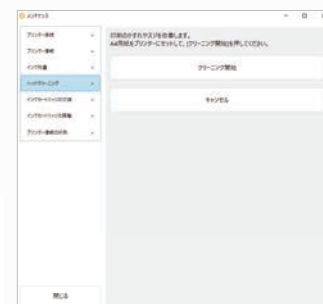


吐出口

STEP 03 ヘッドクリーニングの実施 取説 P35 記載

3色出ているでも白い筋が入る場合は、普通紙でヘッドクリーニングを行ってください。3色出ていない場合も、ヘッドクリーニング（1日/5回まで）を繰り返し行ってください。8時間以上置いてから再度試してください。それでも色が出ない場合は、別のカートリッジで試してください。

※クリーニングのしすぎはインクの消耗につながりますのでご注意ください。



※黒のカートリッジとフルカラーのカートリッジをセットした場合の結果

②印刷後メンテナンス

手順

ポンプキャップ/ スピットプレートの清掃→本体やレール（左右側面）の清掃

・ポンプキャップの清掃

パストリーゼを含ませたクリーニング棒でポンプキャップの半透明ワイパー部分のインク付着（固まりがあれば）を取る。 清掃終了後のポンプキャップの付け方は、取説をご覧ください。



ポンプキャップ

・スピットプレートの清掃

使用されている方はスピットプレートの清掃を行ってください。インク吸収パッド（白い部分）のインク溜まりをパストリーゼを含ませたキムワイブを押さえながらで掃除します。



スピットプレート

・インクミストの拭き取り

本体を電源 OFF 後、本体、ユニット側の天面板、プリントエリア外に付着したインクミストを拭き取ります。パストリーゼを含ませたキムワイブを使用します。
※プリンタ本体にパストリーゼを直接スプレーしないで下さい。



その他のメンテナンス（1ヶ月に1回以上）



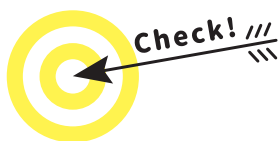
メンテナンス / 作業前の注意を確認（P1）

プリンタ本体電源 OFF にしてください。電源をつけたまま作業するとショートします。素手で行うと手の脂や汚れがフィルムに付き、読み取り不可になり有償修理対象となります。エンコーダーフィルムに折り目や傷をつけた場合も同様です。

Check!

作業前チェック

- ・本体からインクカートリッジの取外し（アプリから操作）
- ・電源オフとコードの取り外し
- ・手袋の着用
- ・対象外部品は触れない



動画：エンコーダーフィルムの清掃手順

STEP
01

エンコーダーフィルムの清掃

印刷時のインクミストによって汚れが付着し、異音や印刷ずれを引き起こす症状を防ぎます。

使用するもの：精製水、クリーニング棒、カップ
※中性洗剤を薄めた水
（カップ 60ml の精製水に中性洗剤 1 滴 程度）



エンコーダーフィルムは端をバネで固定しているため、強く押すと外れる可能性があります。清掃時はクリーニング棒を押し付けず表面をなでるように汚れをふき取ってください。

STEP
01

プリンタ本体電源 OFF

電源 OFF にした後、電源アダプター、ポンプキャップまたは、スピットプレートを取り外します。

STEP
02

中性洗剤を薄めた水をつくる

手袋を装着後、カップ 60ml の精製水に中性洗剤 1 滴程度いれて混ぜます。クリーニング棒に水滴が出ないぐらいにカップの縁で絞ってください。



水滴がでない
ぐらいに絞る

STEP
03

ユニットを移動させる（手動）

ゆっくりと手前に真ん中まで移動させる
※無理やりすると故障の原因になります。



ふき取る際にプリンター内部に水滴が落ちないように注意してください。

STEP
04

エンコーダーフィルムの清掃（一方方向）

クリーニング棒をエンコーダーフィルムの表面をゆっくりと一方方向にスライドさせて清掃します。（バネは触らない。）
右側にきたらインクタンクを手動で左側にずらして、清掃できていない部分を清掃します。



バネ※触らない

汚れがひどい場合は同じ作業を繰り返す。

エンコーダーフィルム上に水分が残っている場合は、乾いたクリーニング棒でふき取り、十分乾かしてください。

STEP
02

フラットケーブルの清掃

印刷時のインクミストによって汚れが付着することが原因で、動作不良や印刷品質の低下を引き起こす症状を防ぎます。

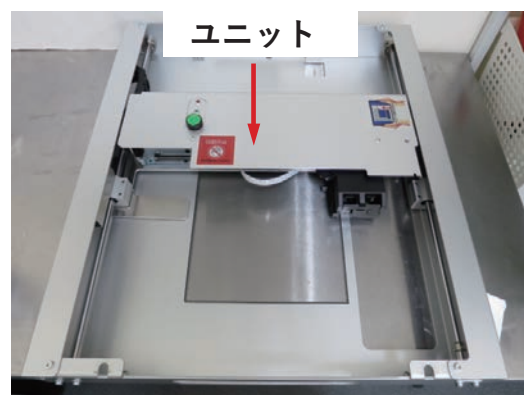
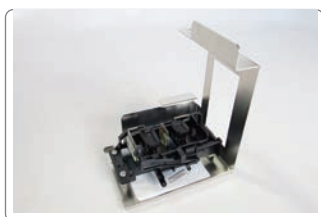
使用するもの：クリーニング棒、ゴム手袋、パストリーゼ用カップ、パストリーゼ（市販品）



STEP
01

プリンタ本体からポンプキャップを外す

電源 OFF にした後、インクタンクを手動で左側にゆっくりと移動させ、本体に設置している電源コード、ポンプキャップまたは、スピットプレートを取り外します。



STEP
02

ユニットを移動させる（手動）

ゆっくりと手前に真ん中の位置まで移動させる。

※むりやりすると故障の原因になります。

水滴がでない
ぐらいに絞る



STEP
03

道具の準備

手袋を着用します。

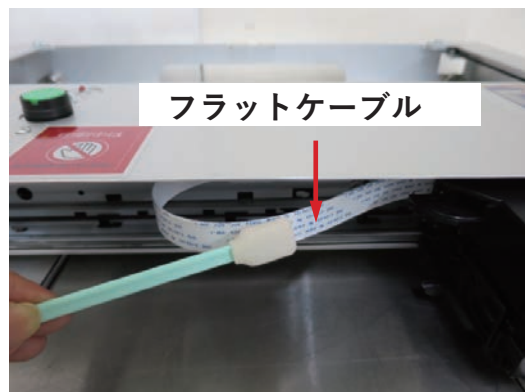
カップにパストリーゼを約 10ml 注ぎ、クリーニング棒にパストリーゼを染み込ませます。このときクリーニング棒からパストリーゼがたれないように注意して下さい。カップの縁で水滴を落とす。



STEP
04

フラットケーブルの清掃

クリーニング棒でフラットケーブルの表面と裏側を優しく一方方向に清掃します。汚れがひどい場合は同じ作業を繰り返す。



STEP
03

インクタンク基盤の清掃

印刷時のインクミストによって、基盤に汚れが付着することが原因で、「カートリッジが認識しない症状」を防ぎます。

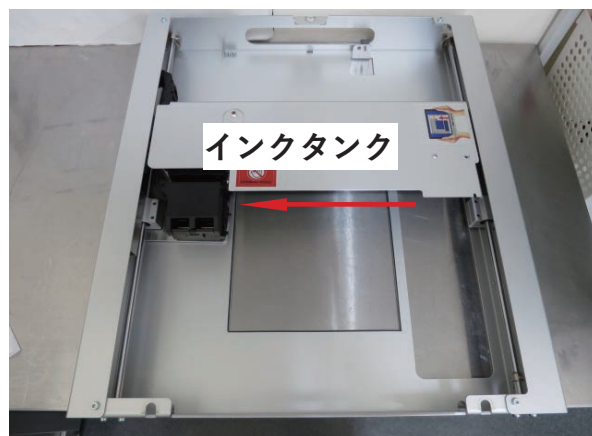
使用するもの：クリーニング棒、ゴム手袋、パストリーゼ用カップ、パストリーゼ（市販品）



STEP
01

プリンタ本体を電源 OFF

電源 OFF にした後、電源コード、ポンプキャップまたは、スピットプレートを取り外します。手でゆっくりとインクタンクをインク交換位置に移動させます。



STEP
02

道具の準備

手袋を着用します。

カップにパストリーゼを約 10ml 注ぎ、クリーニング棒にパストリーゼを染み込ませます。このときクリーニング棒からパストリーゼが垂れないように注意して下さい。カップの縁で水滴を落とす。



※キムワイプ・ティッシュ不可（紙粉の付着、キズがつくなど、基盤認識読み取り不可となり有償修理になります。）

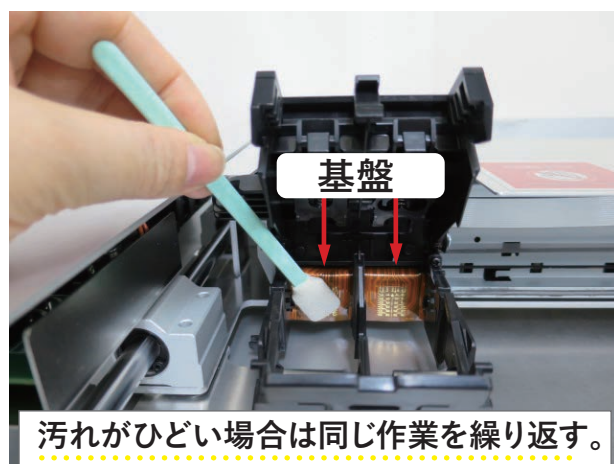
水滴がでない
ぐらいに絞る



基盤を清掃

クリーニング棒で基盤の表面をやさしく清掃します。汚れがひどい場合は同じ作業を繰り返す。

※クリーニング棒の汚れがひどい場合は、カップ内のパストリーゼに浸してからインク汚れを落として下さい。また、新しいクリーニング棒を使用して下さい。



汚れがひどい場合は同じ作業を繰り返す。

メンテナンスキットの清掃



メンテナンス棒は、洗って繰り返しつかえます。
汚れが酷いときは、パストリーゼで漬け置き、インク汚れが取れます。
カップもきれいに洗って、次の清掃のため乾燥させてください。

コンパクトフードプリンタ専門店

運営 株式会社 SO-KEN

URL : <http://soken-creative.com>

MAIL : shop@soken-creative.shop-pro.jp

〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-3-12 船場オスカビル 3F (大阪本社)